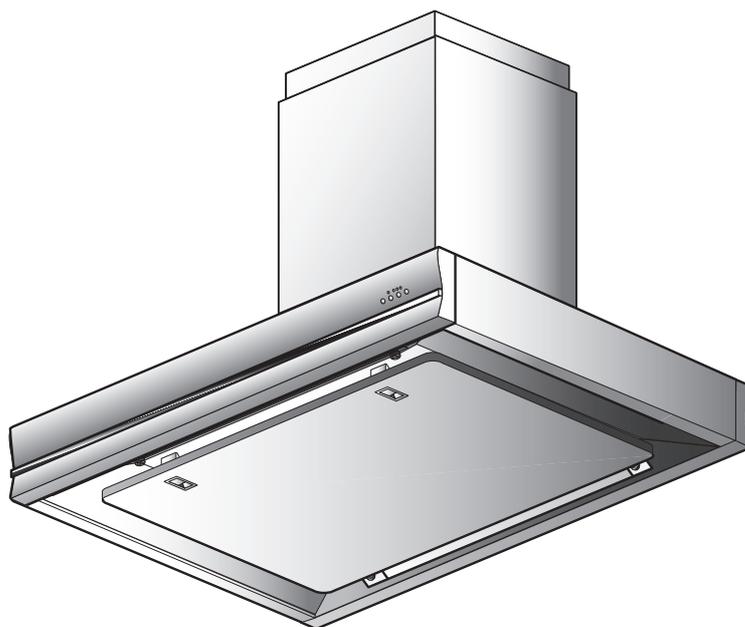


レンジフードファン 取扱説明書



もくじ

安全上のご注意	2~4
使用上のお願い	5~6
使いかた	7
各部のなまえ	7
使用前の準備	7
操作スイッチ	8~9
お手入れのしかた	10~18
分解・組み立てのしかた	11~12
蛍光ランプ交換のしかた	15~16
ファンのお手入れのしかた	17~18
故障かなと思ったら	19
仕様	20
アフターサービス	21
修理を依頼されるときは	22

販売店・工事店様へ：
この取扱説明書は取り付け後、
施主様へ必ずお渡しください。

このたびはレンジフードをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
ご使用される前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになったあとは取付説明書とともにいつでも見られるところに大切に保管してください。

1802 R081-B



1802R081-B

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区別しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。



注意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

絵表示の例



⊘ 記号は禁止行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

安全上のご注意

警告

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造しないこと

発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります。



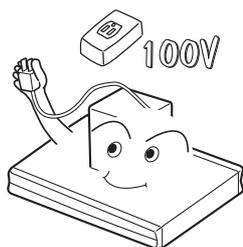
分解・修理
改造禁止

- 交流100V以外では使用しないこと

火災の原因になります。



使用禁止



- ガス漏れのと、スイッチを入/切しないこと

ガス爆発の原因になります。



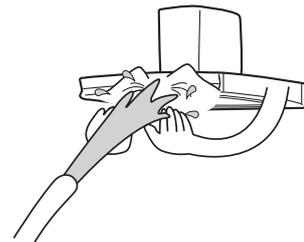
操作禁止

- 電気部品は、水・洗剤等の液体につけたり、かけたりしないこと

発火したり感電することがあります。



水かけ禁止



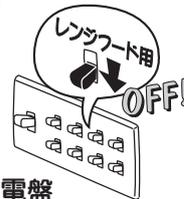
- お手入れやランプ交換の際は必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のレンジフード専用のブレーカーを下げる（電源を切る）こと
また、ぬれた手で抜き差し、入/切しないこと
感電やけがをすることがあります。



プラグを
抜く



ぬれた手



分電盤

- 電源プラグは、刃および刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭くこと

火災の原因になります。



ほこりをとる

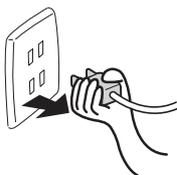
安全上のご注意

⚠ 注 意

- 電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜くこと
コードに傷がつき、火災や感電の原因になります。



プラグを
持って抜く



- お手入れの際にははずしたファンや部品の取り付けは確実にこなうこと
落下によりけがをすることがあります。



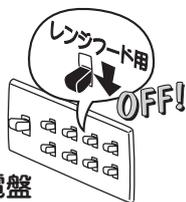
取付注意



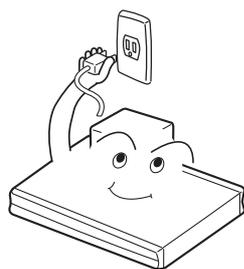
- 長時間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のレンジフード専用のブレーカーを下げる（電源を切る）こと
絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。



プラグを
抜く



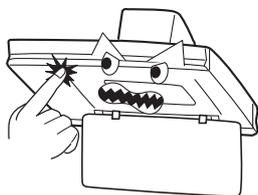
分電盤



- 運転中は指や物を絶対に入れないこと
けがをしたり、故障の原因となります。



接触禁止



- 調理中、油に火がついたときは運転を止めること
運転をしていると、火の勢いがよけいに強くなり危険です。



運転停止



- 本体に異常な振動が発生した場合、使用しないこと

本体、部品の落下によりけがをすることがあります。



使用禁止

- 蛍光ランプ交換はガラスや蛍光ランプが十分冷めてから行なうこと

やけどのおそれがあります。



高温注意

- 指定以外の蛍光ランプを使わないこと

ガラスカバー周辺が高温となり、やけどのおそれがあります。



使用禁止

- レンジフードの上に物を置かないこと

落下してけがをしたり、火災や故障の原因となります



禁止

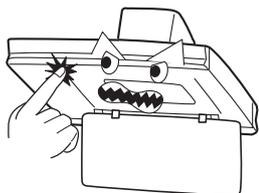
使用上のお願い

⚠ 注意

- 運転中は指や物を絶対に入れないこと
けがをしたり、故障の原因となります。



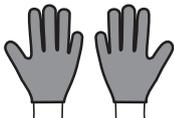
接触禁止



- お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをすることがあります。



手袋をする



- 調理中は、整流板や周辺の部品に手を触れないこと
整流板や部品が落下して、やけどやけがをすることがあります。

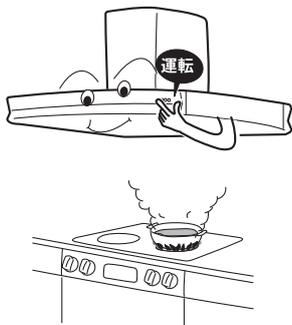


接触禁止



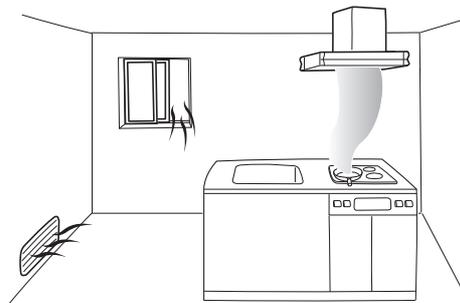
- 調理器具を使用するときは、必ずレンジフードを
運転してください。

運転しないとフード内の温度が上がり、製品の
損傷や高熱による故障の原因となります。

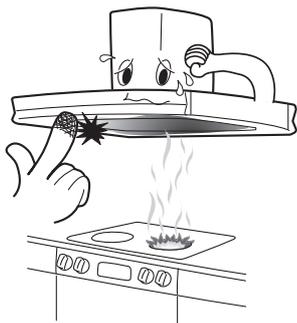


- 調理中は給気を行ってください。

レンジフードの反対側の壁に空気の入入口を設ける
か、部屋の扉を少し開けてください。空気を取り入
れが不十分ですと換気性能が低下します。



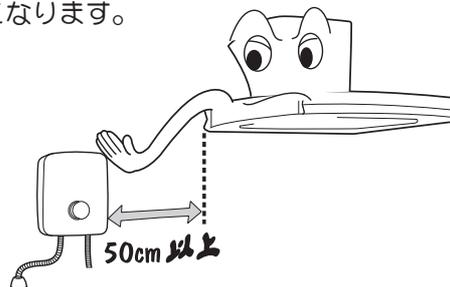
- 調理器具の空焚きは絶対にしないでください。
製品の損傷や高熱による故障の原因となります。



- 湯沸器はレンジフードから50cm以上離してください。

ガス湯沸器周辺はかなり高温になるので50cm以上
離してください。

湯沸器の上には絶対にレンジフードを取り付け
ないでください。製品の損傷や高熱による故障の
原因となります。

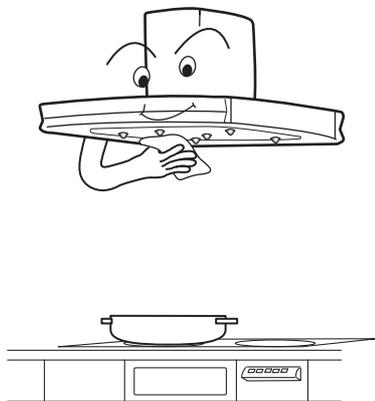


使用上のお願い

- 部屋の扉や窓からの風が強い場合には、横風等の影響で煙の捕集性能が悪くなる場合があります。レンジフード近辺の扉や窓からの横風等の影響がないようにしてください。

- キッチンの気温が低いときに使用された場合にはレンジフードの表面が結露することがあります。この場合は拭き取って使用してください。

- IHクッキングヒーター（電気コンロ）使用時、フードがあたたまりにくいため、結露（水滴）が生じることがあります。結露した水滴はオイルトレイにたまりますが、一杯になる前に水を捨ててください。水を捨てないと、あふれてオイルトレイ取りはずしのときにこぼれる原因となります。特に冬季など気温の低い状況では結露水がたまりやすくなりますのでご注意ください。

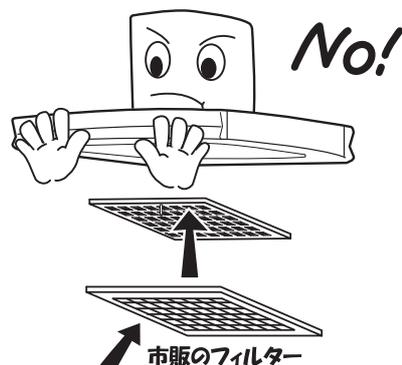


- グリル付の調理器具と合わせて使用する場合、グリル排気口から出る煙によって、壁パネルもしくは照明カバー表面が結露することがあります。この場合は拭き取って使用してください。

- フィルターに市販のフィルターを重ねて使用しないでください。吸い込みが悪くなったり、異音・振動が発生する場合があります。

ご注意

- 性能を維持するため、専用のフィルターをご使用ください。

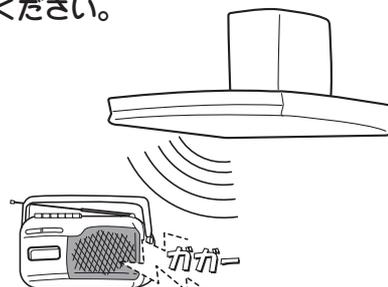


- 蛍光灯ガラスカバーをはずして内部のお手入れをするときは、柔らかい布などを使って水拭きしてください。

洗剤、シンナー、ベンジン、灯油、みがき粉などを使用すると発光部が変色することがあります。

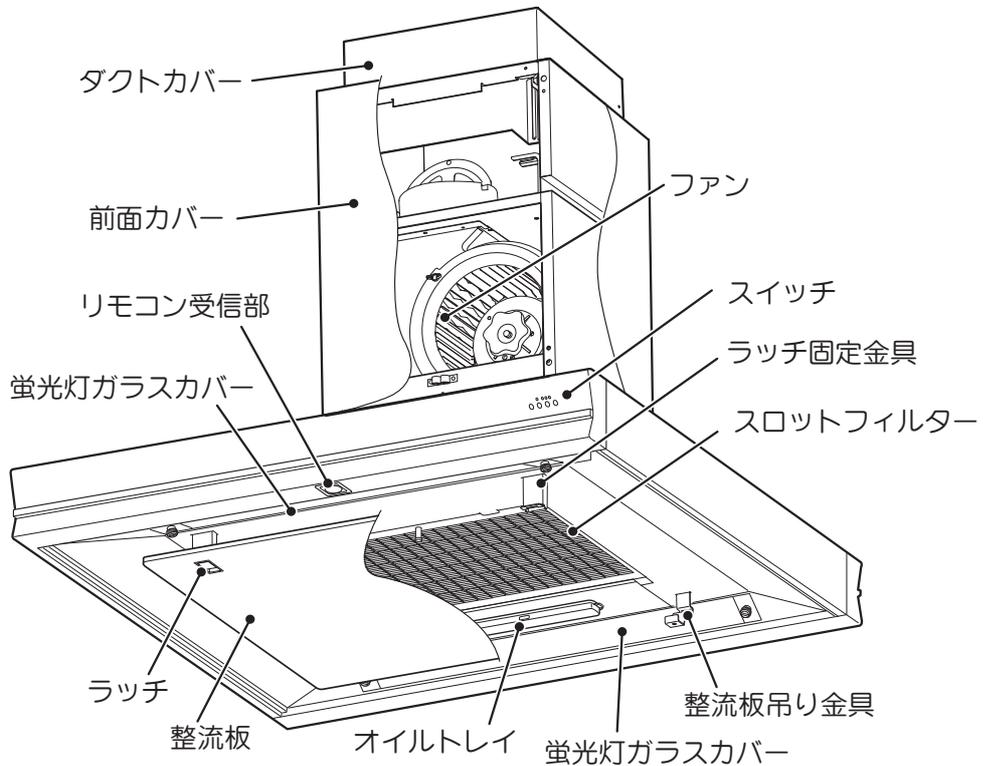


- レンジフードの照明を点灯しているとき、近くでテレビやラジオを使用されると、雑音が入る場合があります。その時はテレビやラジオを遠ざけるか、またはテレビやラジオの向きを変えてください。



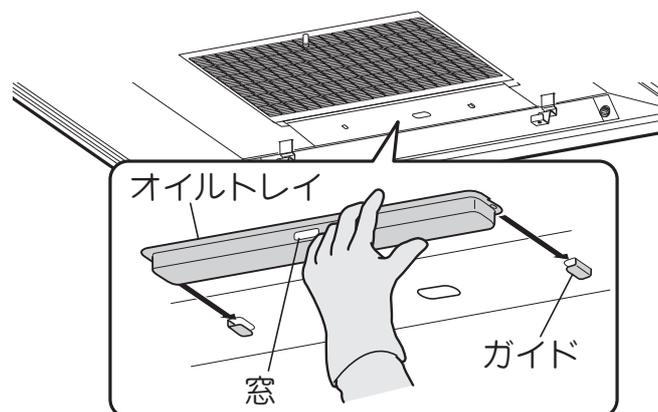
使いかた

各部のなまえ



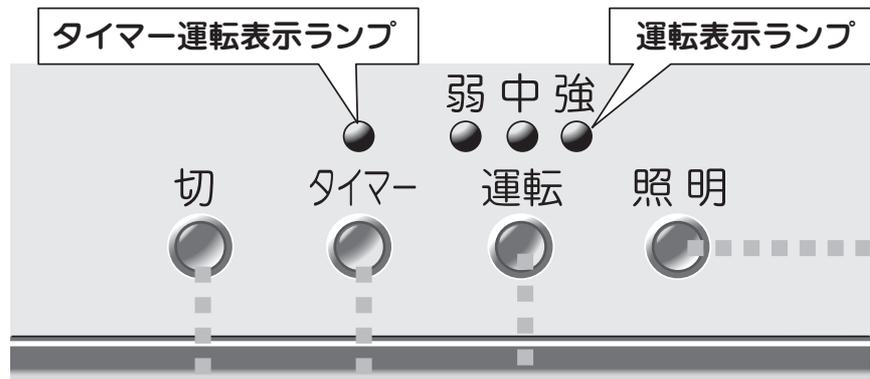
使用前の準備

- オイルトレイが図の所定の位置に正しくセットされているか、確認してください。
オイルトレイは整流板をはずして確認します。
(整流板のはずしかたについては11ページをご覧ください。)
- ※ オイルトレイが正しくセットされていないと、油が調理器具に流れ落ちます。



使いかた

操作スイッチ



切 運転切スイッチ

押すと直ちに運転が停止します。
(照明は消えません。)
調理が終わった後の運転停止は、
タイマースイッチを押してください。

●スイッチの「ロック」 (操作機能全てが「切」状態になります)

この操作は本体のお手入れやランプ交換の際には
必ず行ってください。

切
●スイッチを約3秒間押し続けると「ピッ」と音が鳴り、スイッチがロックされ、ファンは停止し、照明も消灯されます。この状態で、●以外のスイッチを押しても「ピピ」と警告音が鳴り、ファン・照明は作動しません。

「ロック」を解除するには、もう一度「ピッ」と音がするまで切●スイッチを約3秒間押し続けます。ロック解除後は、必要に応じて照明、運転・风量切替スイッチを再操作してください。

- ※ ロック操作は調理を終え、レンジフードが十分冷めた状態で行ってください。
- ※ 停電した場合やブレーカーを切った場合は、ロックは解除されます。

タイマー タイマースイッチ

通常、調理が終わった後は、タイマースイッチを押してください。
タイマースイッチを押すと、そのままの风量で約3分間運転し続けて自動的に運転を停止します。

- ※ 3分間のタイマー運転により、調理の後の臭いやファンについての油汚れなどを落とします。
- ※ 照明は消えません。照明は^{照明}●スイッチを押すと消えます。

照明



照明入／切スイッチ

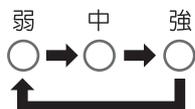
押すと照明が点灯します。
スイッチを押すたびに点灯／消灯を
繰り返します。

運転



運転・風量切替スイッチ

スイッチを押すたびに設定が
変わり、運転表示ランプが
切り替わります。



弱：煙の少ないとき。静かに運転したいとき。
中：通常の運転のとき。
強：煙の多いとき。早く換気したいとき。

切り忘れ防止タイマー

このレンジフードは、最後に操作したときから約5時間運転し続けると自動的に運転を停止し、照明を消灯します。再び運転するときは、 運転 スイッチを押してください。

レンジフード連動タイプ専用調理器具と組み合わせてご使用になる場合

- 連動調理器具を着火すると、自動的にレンジフードは「中」運転を行います。
この状態からもレンジフードのスイッチ(切、風量切替、照明)操作が行なえます。
 - 調理器具を消火した時、レンジフードは自動的にご使用になっていた運転の運転表示ランプが点滅し、そのままの風量で約3分後に運転を停止しますが、照明はもとのままの状態です。
 - レンジフードの風量調節および照明の入／切などの操作を調理器具前面の操作パネルでも行えます。(詳細については調理器具の取扱説明書をご覧ください)
- 専用調理器具については弊社までお問い合わせください。

お手入れのしかた

警告

- お手入れやランプ交換の際は、レンジフードの運転を停止し、照明を消す、次に必ずスイッチをロックするが（8ページ、スイッチの「ロック」参照）、電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のレンジフード専用のブレーカーを下げる（電源を切る）こと

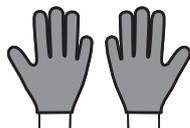
（お手入れ終了後は^切スイッチを「ピッ」と音が鳴るまで約3秒間押してスイッチの「ロック」を解除してください。またブレーカーを下げた場合は、ブレーカーを上げて（電源を入れて）ください。）

- ぬれた手でスイッチを入/切しないこと
感電やけがをすることがあります。



注意

- お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをすることがあります。



- 整流板や部品の取り付けは確実にすること
落下によりけがをすることがあります。



- 鋼板の切り口や角、突起でけがをしないように静かに拭いてください。
- 調理直後のレンジフードは熱くなっている場合がありますのでご注意ください。
- こまめにお掃除してください。特にフィルターは汚れやすいので1ヶ月に1度程度の頻度でお掃除してください。

油が付着した状態で長期間ご使用になりますと、酸化した油で塗装面が変質して塗装はがれの原因になります。早めにお掃除いただきますと汚れも簡単に落とせますし、塗装面の劣化も防げます。

- シンナー、ベンジン、灯油、みがき粉、アルカリ性洗剤などは使用しないでください。
ツヤがなくなったり、変色や塗装や操作表示等のはがれの原因になります。

- アルカリ性洗剤、塩素系洗剤、化学ぞうきんなどの中性洗剤以外の洗剤のご使用はおやめください。

- 60℃以上の熱湯またはスチーム洗浄器は使用しないでください。
プラスチック部品が変形します。

- スイッチなどの電気部品には直接洗剤などをかけないでください。
故障の原因になります。

- スロットフィルターは専用のものをご使用ください。一般市販品をご使用になりますと、通気抵抗が大きくなり、吸い込みが悪くなったり音が大きくなり故障の原因になりますので、絶対に使用しないでください。また、金属製以外のフィルターをご使用になると火災の原因となるおそれがありますので、これらの使用は絶対にやめてください。

- ファンをぶついたり、落としたりして変形させないでください。

- ファンをはずした状態で運転させないでください。モーターが焼きついて故障の原因となります。



お手入れのしかた

分解のしかた

ご注意

- 取りはずしの際は、整流板に油がたまっている場合がありますので、油ダレに十分ご注意ください。
- 整流板のお手入れの際は、整流板や金具などを変形させないようにご注意ください。

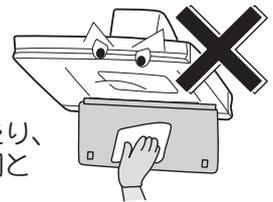
⚠ 注意

- 整流板を本体から取りはずさず、右図のような状態でお手入れをしないこと



必ず守る

落下するとけがをしたり、部品の傷・変形の原因となります。

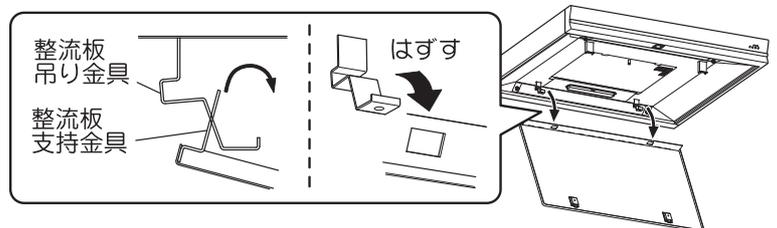
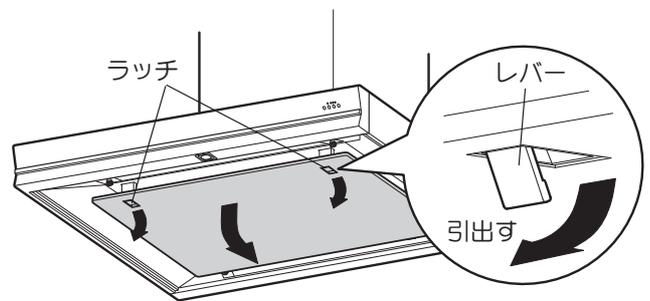


1 整流板をはずします。

ご注意

- 整流板を落とさないように注意してください。落下によるけがや器具類破損のおそれがあります。

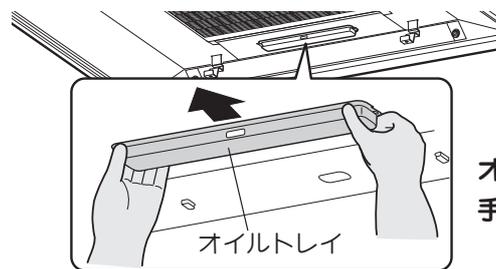
- (1) 整流板を両手でしっかりと支えます。
- (2) 左右のラッチのレバーを引き出しながらゆっくりと手前に倒してください。
- (3) 整流板の後ろを持ち上げ、整流板吊り金具から整流板支持金具をはずします。



2 オイルトレイをはずします。

オイルトレイの両端を持ってゆっくり手前に引き出します。

※ 油をこぼさないようにご注意ください。

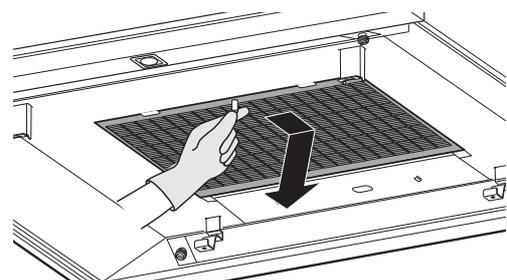


3 スロットフィルターをはずします。

スロットフィルターのツマミを持って後方に押しながらさげると、手前に取りはずせます。

ご注意

- スロットフィルターをはずす際は、必ず手を添えてください。添えないと手前に落下し、けがをすることがあります。

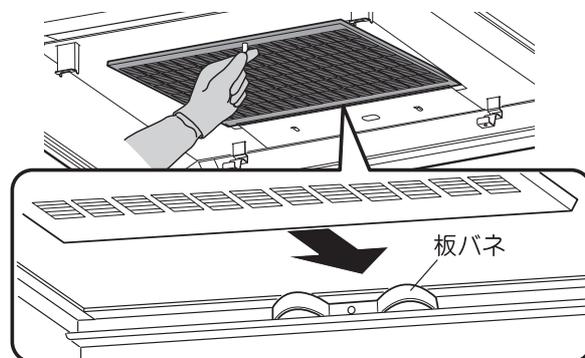


後方に押しながらさげる

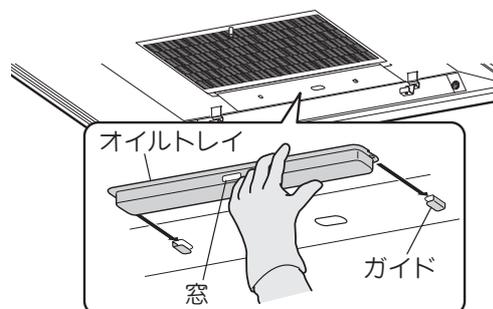
お手入れのしかた

組み立てのしかた

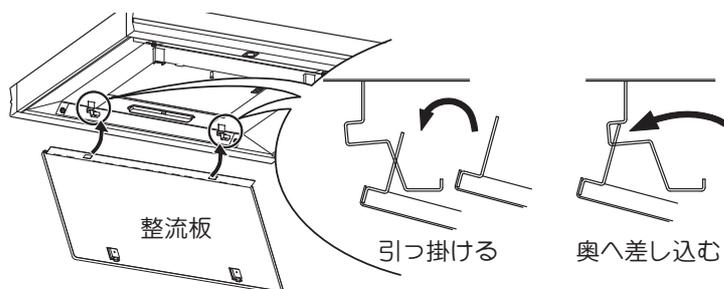
- 1 スロットフィルターを取り付けます。
スロットフィルター下部を、本体の板バネに押しつけながら取り付けます。



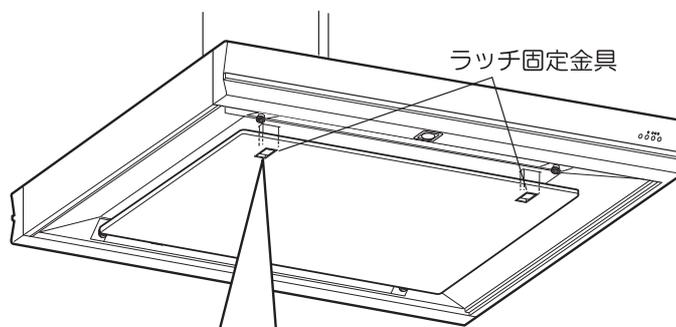
- 2 オイルトレイを取り付けます。
オイルトレイを本体左右のガイドに乗せてから、奥まで押し込みます。



- 3 整流板を取り付けます。
(1) 整流板の整流板支持金具を、整流板吊り金具に引掛け整流板の後ろを持ち上げるように奥へ差し込んでください。

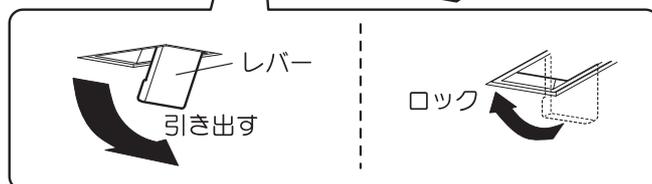


- (2) 整流板を両手で支えながら先端を上を持ち上げ、左右のラッチのレバーを引き出しながらラッチ固定金具に押し付けた状態でレバーを放すとロックされます。



ご注意

- 整流板の固定は、確実に行ってください。ロックが不十分ですと落下の原因になります。



お手入れのしかた

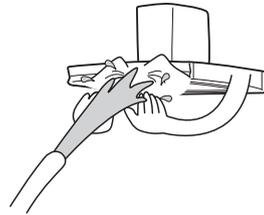
警告

- 電気部品は水・洗剤等の液体につけたり、かけたりしないこと



水かけ禁止

発火したり感電することがあります。

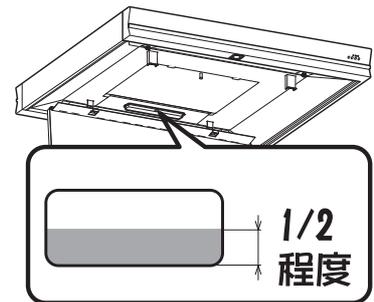


- このレンジフードは、お手入れが簡単にできる、ステンレス仕上げとなっています。日常のお手入れは、調理終了後や後片付けの際に、さっとひと拭きするだけで簡単におこなえます。

あまり汚れないうちに掃除してください。期間が長くなると、油が固まって汚れが落ちにくくなります。特にスロットフィルター・整流板は月に1回程度お掃除してください。

また、オイルトレイは前面から油のたまり具合が確認できますので、窓から見て1/2位たまったら、オイルトレイを引き出して油を捨ててください。

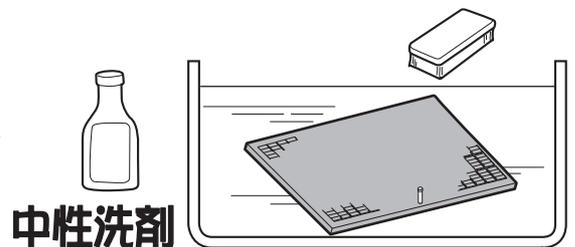
※ 油調理の頻度によっては、短期間では油がたまらない場合もあります。(故障や不具合ではありません)



■スロットフィルター

1か月に1回程度、中性洗剤を溶かしたぬるま湯に浸したのち、表面のやわらかい布やスポンジなどで洗ってください。

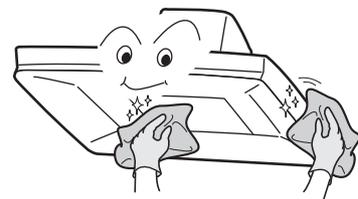
汚れを落としたあと、洗剤が残らないように水洗いし、水気をとってから取り付けてください。



お手入れのしかた

■本体・整流板

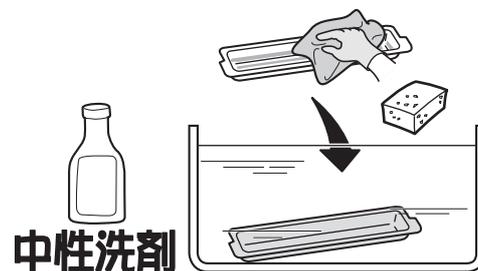
整流板をはずし、フード本体内側や外面を中性洗剤溶液に浸した布で汚れを拭き取ったあと、洗剤が残らないよう、清水で湿らせた布で洗剤を良く拭き取ってください。特に下端部は汚れが付きやすいので、こまめに拭き取ってください。整流板の両面も同様に清掃してください。



■オイルトレイ

オイルトレイにはファンの遠心力により、集められた油がたまっていきます。この油は時間がたつとだんだん固まってきて、汚れが落ちにくくなります。調理内容によって油のたまり具合は異なりますが、油がたくさんたまっていなくても、1ヶ月に一度程度はお掃除してください。油を使った料理を多くされると油のたまり具合も早くなってきますので、その場合はオイルトレイに半分くらいたまったところでお掃除をしてください。油調理の頻度によっては、短時間で油がたまらない場合もあります。

オイルトレイの汚れは、たまった油を捨てたあと、中性洗剤に浸した布でスポンジで汚れを拭き取ってください。その後、洗剤が残らないよう、水で湿らせた布で洗剤をよく拭き取ってください。金属ブラシやタワシなど、傷の付くもので洗わないでください。



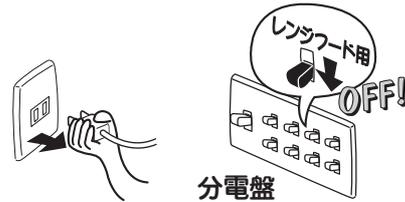
お手入れのしかた

蛍光ランプ交換のしかた

ご使用の蛍光ランプが切れたときは、家電量販店などで**蛍光ランプ**(型名：FHF24SEN 定格 24 W・口金 G5)を購入し（一部の家電量販店では注文扱いとなります）交換してください。

警告

- 蛍光ランプ交換の際は、レンジフードの運転を停止し、照明を消す、次に必ずスイッチをロックする（8ページ、スイッチの「ロック」参照）、電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のレンジフード専用のブレーカーを下げる（電源を切る）こと
（蛍光ランプ交換後は^切スイッチを「ピッ」と音が鳴るまで約3秒間押してスイッチの「ロック」を解除してください。またブレーカーを下げた場合は、ブレーカーを上げて（電源を入れて）ください。）



- ぬれた手でスイッチを入/切しないこと
感電やけがをすることがあります。

- 蛍光ランプの交換は、蛍光灯ガラスカバーや蛍光ランプが冷めた状態で行うこと
消灯直後に行くと、やけどの原因となります。

注意



禁止

- 蛍光灯ガラスカバー以外の場所をさわらないこと
けがや故障の原因となります。



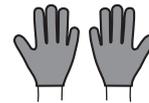
必ず守る

- 必ず24W以下の蛍光ランプを使用すること
やけどのおそれがあります。
発熱による故障の原因となります。



必ず守る

- 鋼板の切り口や角でけがをしないように、必ず厚手の手袋をすること



- お手入れの際に、はずした前面カバーやファン・部品の取り付けは確実にすること
落下によりけがをすることがあります。

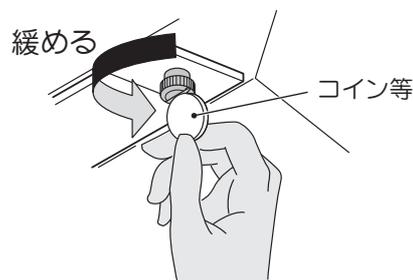
お手入れのしかた

- 1** 蛍光灯ガラスカバーをはずします。
ガラスカバー両端のねじをコインなどで緩め、
カバーを必ず手で支えながらねじをはずします。

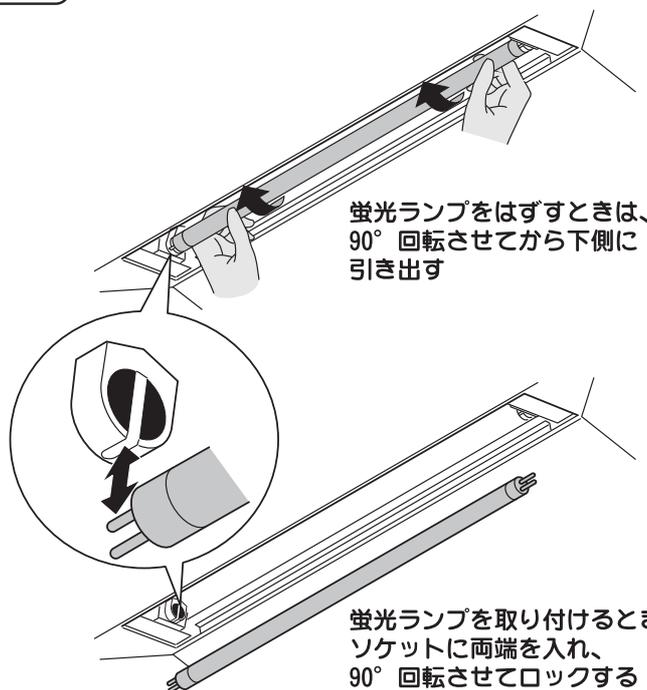
※手で支えないと落下します。

ご注意

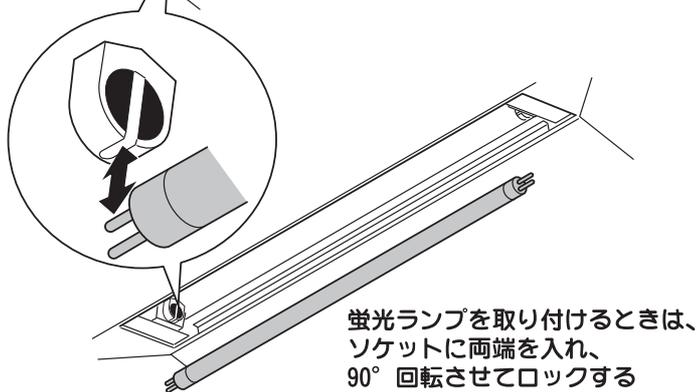
- ガラスカバーを落とさないように作業を行ってください。
カバーが落下して割れた場合、けがをするおそれがあります。



- 2** 蛍光ランプを図のように指でつまみ、
手前に90°回転させてから、蛍光ラン
プを下側に引き出すようにして取りは
ずします。



- 3** ソケットに新しい蛍光ランプを取り付け
ます。
図のように蛍光ランプの両端をソケット
に入れ、奥側に90°回転させてロックし
ます。



- 4** 蛍光灯ガラスカバーを両端のねじで
しっかりと取り付けます。

※蛍光ランプ交換後は再び電源プラグをコンセントにしっかり
差し込んでください。またブレーカーを下げた場合は
ブレーカーを上げ(電源を入れ)、スイッチをロックした場
合はロック解除をしてください。



お手入れのしかた

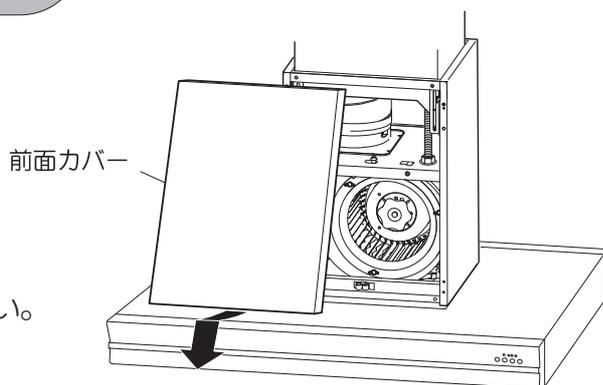
レンジフードを長期にお使いになり、汚れがひどい場合でファンもお手入れする場合には次の手順でお手入れを行ってください。

※ お手入れの際は、レンジフードの運転を停止し、照明を消してください。次に必ずスイッチをロックするか（8ページ、スイッチの「ロック」参照）、電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のレンジフード専用のブレーカーを下げて（電源を切って）ください。

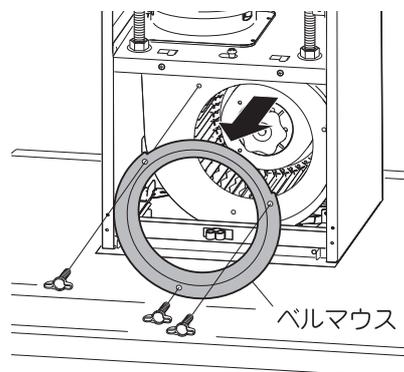
ファンのお手入れのしかた

ファンのはずしかた

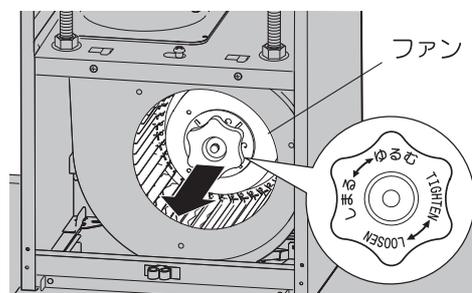
- 1 ファンケースの前面カバーをはずします。
前面カバーの下側を手前に引き、下へずらしながら取りはずします。
※ 手を傷つけないように必ず厚手の手袋をしてください。



- 2 ベルマウスをはずします。
ベルマウスの取付ねじ3か所を手でゆるめ、ベルマウスをはずします。



- 3 ファンをはずします。
ファンが回らないように軽く押さえながら、ツマミを「ゆるむ」（時計回り）の方向に回してはずしたあと、ファンを取り出します。
※ ファンは軽く押さえてください。強く押さえるとファンが変形することがあります。



ご注意

- ファンをぶついたり、落としたりして変形させないでください。異常な音や振動の原因となります。
- ファンの回転バランスをとるために、バランス（重り）がついている場合がありますが、絶対にはずさないでください。（バランスがくずれ、吸い込みが悪くなったり、異音の原因となります。）



お手入れのしかた

ファンの洗いかた

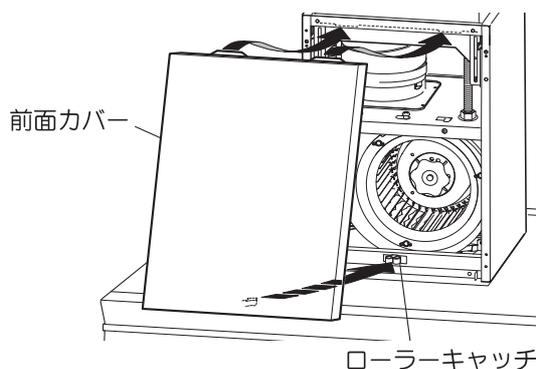
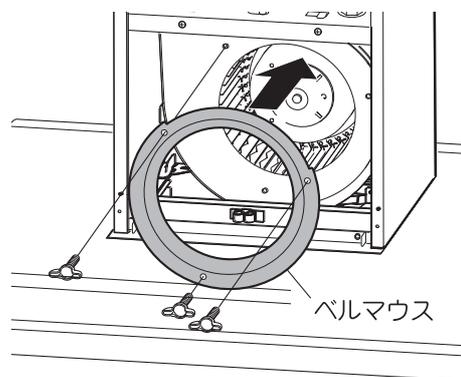
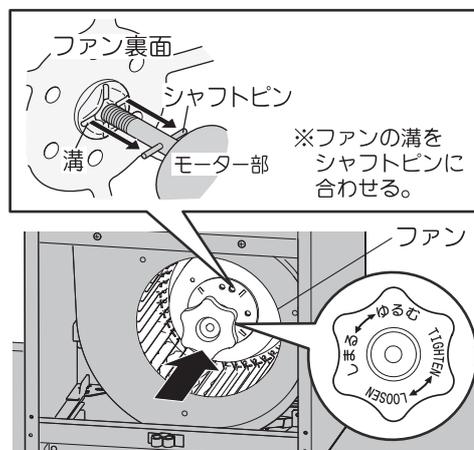
ファンを本体からはずし、中性洗剤を溶かしたぬるま湯につけて洗ってください。

汚れを落としたあと、洗剤が残らないよう水洗いし、水気を取ってから取り付けてください。



ファンの取り付けかた

- 1** ファンを取り付けます。
ファンの溝をモーター部のシャフトピンに合わせ、根元まで差し込んでください。
- 2** ツマミを取り付けます。
ファンが回らないように軽く押さえ、ツマミを「しまる」（反時計回り）の方向に回して締め付けてください。
※ファンは軽く押さえてください。強く押さえるとファンが変形することがあります。
- 3** ベルマウスを取り付けます。
ベルマウスを元に戻し、取付ねじ3か所を締め付けてください。
ファンを手で回してこすれ音などが無いことを確認してください。
- 4** ファンケースの前面カバーを取り付けます。
上部左右の爪を引っ掛け、上方へずらしながら前面カバーの下側をローラーキャッチへ押し込みます。



※お手入れ終了後は^切スイッチを「ピッ」と音が鳴るまで約3秒間押し、スイッチの「ロック」を解除してください。また、電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。ブレーカーを下げた場合は、ブレーカーを上げて（電源を入れて）ください。

故障かなと思ったら

修理を依頼されるまえに 次の点をもう1度お調べください。

症状

考えられる原因

処置

- スイッチを入れてもファン・照明の電源が入らない。
- ファンがまわらない。

- 分電盤のブレーカーが下がって(電源が切れている)。
- 電源プラグがはずれている。
- スイッチを押すとピピと音がしませんか。(スイッチロック状態)

- 分電盤のブレーカーを上げる(電源を入れる)。
- 電源プラグを差し込む。
- 切ボタンを3秒以上押し続けてロックを解除する。

- 照明がつかない。

- 蛍光ランプが切れている。
- 蛍光ランプの取り付けが緩んでいる。

- 蛍光ランプの交換をする。
- 蛍光ランプを取り付け直す。(15ページ参照)

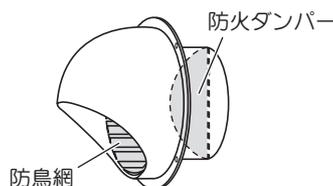
- 異常音がする。

- ファンのツマミが緩んでいる。
- ベルマウスの固定ねじが緩んでいる。
- フィルターが汚れている。
- 給気が十分でない。

- ファンのツマミを締め直す。(18ページ参照)
- ベルマウスの固定ねじを締め直す。(18ページ参照)
- フィルターを掃除する。(13ページ参照)
- 十分な給気を確保する。
- ファンを取り付ける。(18ページ参照)

- 吸い込みが悪い。

- フィルターが汚れて目詰まりしている。
- 給気が十分でない。
- エアコンや窓からの風があたっている。
- 屋外のバンドキャップの防鳥網が目詰まりしている。
- 屋外の防火ダンパーが閉じていて、排気されない。



- 市販のフィルターを重ねている。

- フィルターを掃除する。(13ページ参照)
- 十分な給気を確保する。
- 風があたらないようにする。
- 防鳥網を掃除する。
- 修理を依頼する。

- 市販のフィルターをはずす。

仕様

定格電圧 (V)	ノッチ	定格周波数 (Hz)	消費電力 (W)	風量 (m ³ /h)		騒音 (dB)	質量 (kg)
				0 Pa時	130 Pa時		
100	強	50	115	700	500	48	37.0
		60	140	610	540	46	
	中	50	105	560	—	43	
		60	110	430	—	40	
	弱	50	75	295	—	30	
		60	70	235	—	26	

消費電力、風量、騒音の測定は JIS C9603 による。

騒音値、風量は実際の使用条件では変化しますのでご了承ください。

レンジフードに使用している部品は、性能向上などのために予告なしに一部変更することがあります。

アフターサービス（必ずお読みください）

補修用性能部品の最低保有期間

- 当社は、このレンジフードファンの補修用性能部品を製造打切り後6年間保有しています。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

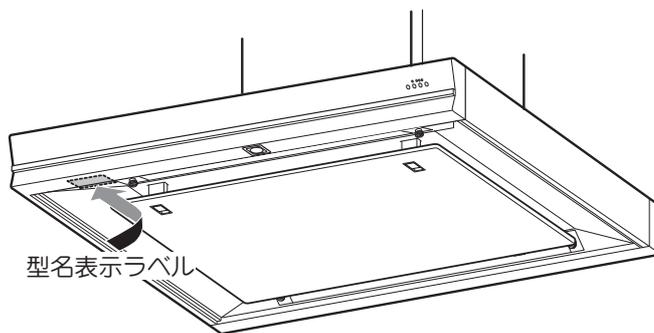
- 製品の保証期間は、お買い上げ後取扱説明書、本体貼付ラベルの注意書に従った正常なご使用状態において1年間です。
ただし、次の場合には保証期間内でも有料になります。
 - (1) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、異常電圧等不慮の事故により生じた故障および損傷。
 - (2) 使用上の誤り、改造等による故障および損傷。

修理を依頼されるときは

19ページに従ってお調べいただき、なお異常のあるときはご使用を中止し、必ず分電盤のブレーカーを切ってから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容	
品名	レンジフード
型名	
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども併せてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

レンジフードの型名は、本体の内側左側面に表示してあります。



愛情点検



ご使用の際、このような症状はありませんか？

- スイッチを入れても、動かないときがある。
- 運転中に異常な音や振動がある。
- 焦げ臭いにおいがする。
- その他、異常・故障がある。



ご使用中止

このような症状のときは、故障や事故防止のため、ブレーカーを切り、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

修理料金の仕組み

- 修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
- 技術料は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
- 部品代は、修理に使用した部品および補助材料代です。
- 出張費は、お客様のご依頼により、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。



長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)

※ 経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容の表示を本体におこなっています。



【製造年】本体に西暦4ケタで表示してあります。

【設計上の標準使用期間】10年

設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

(設計上の標準使用期間とは)

※ 運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※ 設計上の標準使用期間は、無償保障期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

● 「経年劣化とは」
長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

■標準使用条件

日本工業規格 JIS C 9921-2 より引用

環境条件	電圧	単相 100V	
	周波数	50Hz 又は/及び60Hz	
	温度	20℃	JIS C 9603参照
	湿度	65%	JIS C 9603参照
	設置条件	標準設置	取付説明書による
負荷条件		定格負荷 (換気量)	取扱説明書による
想定時間	1年間の使用時間	換気時間 ^{a)} 台所 2 410時間/年	
注 ^{a)}	常時換気 (24時間連続換気) のものは、8 760時間/年とする。		

お客様の個人情報のお取り扱いについて

当社および当社関係会社（以下「当社」）は、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を、下記の通り、お取り扱いします。

1. 当社は、お客様の個人情報を、当社製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
なお、修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
2. 当社は、お客様の個人情報を、適切に管理します。
3. お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

修理依頼について

修理を依頼される時は、お買い上げの販売店、またはシステムキッチンメーカーにご連絡ください。

	購入店名	電話	()
お客様メモ	(システムキッチンメーカー名 :)		
	ご購入年月日	平成	年 月 日